

担い手通信

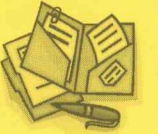


第24号
平成25年7月発行

大仙市集落営農・法人化支援センター
大仙市大曲花園町1番1号 車庫棟2階
電話：0187-73-5830
FAX：0187-73-5831

今回のラインナップ

- 大仙市西部新規就農者研修施設が新設されました！
- 「新たな農業経営指標」を活用しましょう！
- 集落営農組織から農事組合法人へ
～太田地区・農事組合法人 駒場南～
- 大仙市集落営農組織連絡協議会総会が開催されました！

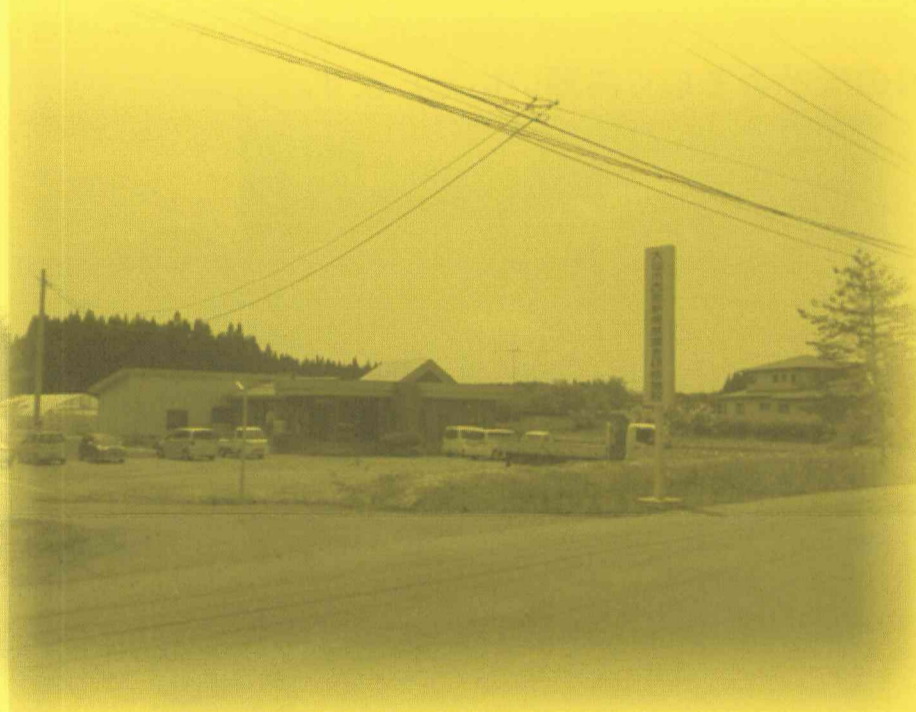


大仙市西部新規就農者研修施設が新設されました！

大仙市では、農業後継者と新規就農を目指す若手農業者の育成や、大仙市農業の中心となる人材の確保及び栽培技術習得研修を目的に、東部新規就農者研修施設（太田地域）に加え、新たに西部新規就農者研修施設（旧西仙北西中学校寄宿舎）を新設しました。

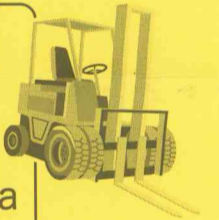
大仙市の担い手支援施策の柱となっている新規就農者研修施設は、研修希望者が年々増加傾向であることに加え、国の青年就農給付金制度が創設されたことにより、今後も研修希望者が増えることが予想されます。

そのため、施設の受入体制を拡充し、栽培技術等の向上を図ることを目的に、今回の西部新規就農者研修施設の新設が決定しました。現在は、4名の研修生が、新規就農に向けて技術を磨いています。



【施設概要】

- 敷地面積 62 a
- パイプハウス 3棟（48坪×3棟）
- 露地面積 20 a
- 果樹面積（リンゴ・ブルーベリー） 5 a
- 管理棟（事務室）、駐車場等 29 a



市の重点振興作物を中心として、そら豆、枝豆、スイートコーン、なす、トマト、スイカ、ダリア（花き）のほか、各種野菜類を栽培しています。

～認定農業者の皆様へ～

「新たな農業経営指標」を活用しましょう！

東北農政局
大仙地域センターより

「新たな農業経営指標」による自己チェックがインターネット上で出来るようになりました！

農林水産省では、農業経営者の皆さんが自らの経営改善のために活用できる「新たな農業経営指標」を策定しています。

この「新たな農業経営指標」について、インターネット上で簡単に自己チェックに取り組める「経営改善実践システム」が完成しましたので、是非ご利用ください。

経営改善実践システムは…

特別なソフト不要！

簡単なデータ入力！

データの保存・修正が容易！

システムの使い方は簡単です！

1. 「農林水産省/新たな農業経営指標」のホームページを開き、経営改善実践システムをクリック

農林水産省ホームページ>組織・政策>経営
>新たな農業経営指標>経営改善実践システム
☞ <https://shihyo.maff.go.jp/>



2. 基本情報を登録し、ID、パスワードを取得

- ①「新規利用者登録はこちらをクリック」をクリック
- ②基本情報を入力し、「登録」ボタンをクリック
- ③登録完了画面において表示されたログインID及び設定したパスワードをメモしてログイン画面へ

3. ログインして取組の自己チェックと経営データを入力し、評価結果シートを作成

お問い合わせ先
農林水産省 経営局 経営政策課 (03-6744-2143)
〇〇農政局 経営/事業支援部 担い手育成課 (00-0000-0000)



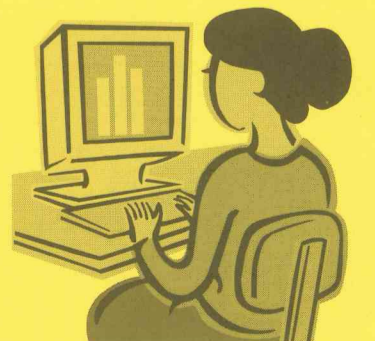
農林水産省

農林水産省では、農業経営者の皆さんが自らの経営改善のために活用できる「新たな農業経営指標」を策定しています。

この「新たな農業経営指標」を活用して自己チェックに取り組むことができる「経営改善実践システム」が完成しており、インターネット上で簡単に利用することができますので、ぜひ御活用ください。

農林水産省ホームページ

- 組織・政策
- 経営
- 新たな農業経営指標
- 経営改善実践システム



⇒ <http://shihyo.maff.go.jp/>

～法人化取組の事例紹介～

集落営農組織から農事組合法人へ

農事組合法人 駒場南
代表理事 加藤 幸政

農事組合法人「駒場南」は、大仙市太田町の南西部に位置し、旧仙北町に隣接している駒場地区の荒屋敷集落で構成される法人組織です。大仙市太田町は、東に奥羽山脈が連なり、自然に恵まれた農業が盛んな地域です。

太田町駒場地区は平成5年から5年間、県営担い手育成基盤整備事業によって区画整備が行われており、平成18年に荒屋敷集落内15戸の農家で、現在の法人組織の原形となる駒場南集落営農組織を設立しました。

組織設立当初から、農業機械施設の共同利用、大豆を中心とする転作作物の共同作業等を行い、農業機械については補助事業やリース事業等の支援をいただき、田植機やトラクター、コンバイン等を取得し、生産のコスト削減と効率的な作業体系を推進してきました。

しかしながら、構成員の高齢化や兼業化が進み、従来の集落営農組織では、持続可能な農業経営の継続が困難になってきていることから、農業法人の設立に向けた話し合いを平成23年度から本格的に始めました。

これまでの集落営農組織の活動実績を踏まえ、集落営農組織の経営基盤を活かしながら、法人化することに対し、幾度となく話し合いを重ね、平成25年1月に14名の構成員で農事組合法人「駒場南」を設立しました。

経営面積は24.4haで、水稻15.2ha、大豆9.2ha（うち大豆採取圃が1.5ha）となりました。

今後は、水稻の作業受託を増やし複合作物を導入し、集落の労働力、農地等地域資源を結集し、地域農業の発展のためにも、地域リーダー並びに後継者の育成を図りたいと思います。

最後に仙北地域振興局や市、JA等の関係機関からは法人設立に至るまで多大なる御指導、御協力をいただき深く感謝するとともに、これからの組織運営についても御指導のほどよろしくお願いいたします。



農事組合法人 駒場南
設立総会の様子
(平成25年1月17日)

今後の取組について述べる
加藤両理事
(左:加藤進理事 右:加藤幸政代表理事)

大仙市集落営農組織連絡協議会 総会が開催されました!

平成25年6月27日(木)に、大仙市集落営農組織連絡協議会(会長:草薙節雄)の総会が、大曲のフォーシーズンで開催されました。

議案として提出された平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度事業計画(案)・収支予算(案)や、役員の任期満了に伴う役員改選について審議が行われました。役員改選については、審議の結果、次のとおり決定されました。再任となった役員及び新任の役員の皆様、よろしくお願いいたします。

協議会は、今後法人組織視察等を行う現地研修会や、有識者を講師としてお招きし講演を行っていただく情報交換会などを開催する予定であり、詳細が決まり次第お知らせしますので、ふるって御参加ください。

役職	氏名	備考
会長	草薙 節雄 (再任)	四ツ屋第一集落営農組合 (大曲地域) 組合長
副会長	進藤 巖 (再任)	大巻営農組合 (西仙北地域) 組合長
副会長	長澤 典雄 (再任)	ファクトリー星宮 (仙北地域) 組合長
監事	高橋 辰美 (新任)	館ノ内集落営農組合 (中仙地域) 組合長
監事	伊藤 正徳 (新任)	及水集落営農組合 (南外地域) 組合長